



銀行から電話・・・果たして本物?企業の資産が危ない!

企業の資産（法人口座）を狙う手口は?

1. 犯人が銀行関係者をかたり、企業に電話をかけ、自動音声ガイダンスを流す。音声に従い番号を押すと、犯人に切り替わる（始めから犯人が電話することもある）
2. メールアドレスを聴取し、フィッシングメールを送信。メール記載のリンクから偽サイトに誘導し、インターネットバンキングのアカウント情報等を入力させる
3. 犯人はアカウント情報等を利用し、法人口座から資産を不正送金する

※架電イメージ



犯人

①電話（自動音声）

〇〇銀行です。ネットバンクの顧客情報の更新手続きが必要です。■番を押してください

②自動音声に従い番号押下

③電話（犯人の声）

顧客情報の更新用リンクを送るので、メールアドレスを教えてください



被害企業
担当者

どう見分ける?こんな電話は偽物の可能性大!

- 発信元番号が国際電話（+（国番号））、または非通知となっている
- 自動音声ガイダンスが流れたのち、人間の声に切り替わる
- 通話中にメールアドレスを聴取され、リンク付きメールが送られる

社内で徹底!被害を防ぐために

◆ 銀行から電話があれば、本物かどうか確認する

上記に該当する特徴がみられた場合はいちど切電し、営業店・代表電話に確認してください

◆ メールに記載されているリンクからアクセスしない

インターネットバンキング利用時は、銀行公式サイト・アプリからアクセスしてください

もしも、被害に遭ってしまったら警察に通報・相談を!



長崎県警察本部サイバー犯罪対策課
LINE公式アカウント

サイバー犯罪被害防止に
役立つ情報発信中!